

令和7年度 第1回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議 会議録

【会議の概要】

開催日時		令和7年6月20日（金）13時00分から14時00分まで
開催場所		宮前区役所4階 大会議室
出席者の氏名	委員 （順不同・敬称略）	小平 隆雄（田園調布学園大学） 本橋 隆子（聖マリアンナ医科大学） 亀谷 雄一郎（宮前区医師会） 大久保 透（宮前区全町内・自治会連合会） 大塚 靖夫（宮前区地域包括支援センター連絡会議） 角山 正敏（宮前区地域自立支援協議会） 小川 芳郎（宮前区民生委員児童委員協議会）
	欠席委員	江木 幸代（宮前区社会福祉協議会） 宮下 大志（宮前区PTA協議会） 江田 孝二（株式会社東急ストア）
	関係職員	小泉 幸弘（宮前区役所副区長） 長井 武志（地域みまもり支援センター所長） 津田 多佳子（地域みまもり支援センター副所長） 西村 正道（地域みまもり支援センター担当部長） 小林 聡美（地域支援課長） 富田 幸子（地域支援課 地区支援第1係長） 中村 久美子（地域支援課 地区支援第2係長） 成島 正浩（地域支援課 地域サポート係長） 江口 大（児童家庭課長） 山田 敦（高齢・障害課長） 山崎 隆史（保護課長） 大塚 晃（衛生課長） 平山 宏子（保育所等・地域連携担当課長） 野平 夕子（学校・地域連携担当課長） 戒田 洋一郎（宮前区役所危機管理担当課長） 小西 洋平（宮前区役所まちづくり推進部企画課長代理） 松井 万帆（宮前区役所まちづくり推進部地域振興課長） 舟田 彰（宮前図書館長）
	事務局	大木 かほ里（地域ケア推進課長） 飯島 達也（地域ケア推進課 企画調整係長） 山本 浩平（地域ケア推進課 企画調整係） 井上 雛子（地域ケア推進課 企画調整係）
	オブザーバー	高相 強志（川崎市宮前区社会福祉協議会 事務局長）
傍聴人の数		0名

議事 (公開)	(1) 第7期宮前区地域福祉計画の概要及び令和6年度実施結果について (資料3-1~2) (2) 令和6年度重点取組等の評価(案)について(資料4-1~2) (3) その他
配布資料	資料1 地域包括ケアシステムと川崎市の地域福祉計画について 資料2 宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議の目的及び 第1回会議の内容・進め方等について 資料3-1 第7期宮前区地域福祉計画の基本理念、基本目標、基本方針 資料3-2 第7期宮前区地域福祉計画 令和6年度実施結果 資料4-1 第7期宮前区地域福祉計画の評価について 資料4-2 第7期宮前区地域福祉計画 令和6年度重点取組の評価(案) 宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議委員名簿 宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議関係者名簿 令和7年度第1回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議席次表 川崎市宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議開催運営等要綱

【議事要旨】

発言者等	発言要旨
開会	事務局から開会の挨拶 事務局から会議公開、会議録の作成と公開について説明、傍聴人0名 江木委員、宮下委員、江田委員欠席
副区長	小泉副区長から挨拶
委員・出席者の紹介等	委員及び出席者による自己紹介 事務局から資料1に基づき地域包括ケアシステムと川崎市の地域福祉計画について、資料2に基づき宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議の目的及び1回会議の内容・進め方等について説明
事務局	〔議事1〕第7期宮前区地域福祉計画の概要及び令和6年度実施結果について ・事務局から、資料3-1に基づき第7期宮前区地域福祉計画の基本理念、基本目標、基本方針について、資料3-2については個別に説明は行わず質問をいただく旨説明 〔議事2〕令和6年度重点取組等の評価(案)について ・事務局から、資料4-1に基づき第7期宮前区地域福祉計画の評価対象、評価方法等について、資料4-2に基づき令和6年度重点取組の具体的な評価案について説明
事務局	事務局からの説明は以上となりますが、本日欠席の委員の方々から事前に御意見をいただきましたのでお伝えいたします。 まず、宮前区PTA協議会から御推薦の宮下委員から、「定量的な情報がなく内容に『〇〇を実施する』、実施結果に『〇〇を実施した』の記載が多く、どれだけの効果があったか測れなかった。せっかく多くの素晴らしい取組をしていますので、定量的な数値を入れることで、それらの取組の影響範囲の大きさや規模感が評価できるようになると思いました。その評価結果から優先度を付け

	たり、取組の整理をしたり、追加の企画をしたり、方法を変えて規模を大きくしたり、発展的な評価や検討ができると思います。」との御意見をいただきました。事務局としましては定量的な数値による評価が難しい取組もありますが、数値化すると、より分かりやすくなる・評価できる部分がないか今後検討してまいります。 次に、社会福祉協議会から御推薦の江木委員からの御意見ですが、「土橋小学校で開催された宮前区防災訓練の際は、参加者の防災意識が向上する企画がいろいろなブースで考えられていました。土橋カフェには、毎回、区職員が顔を出して、参加者の輪に入り馴染んでいて、和やかに過ごしている様子が印象に残っています。保護司会では、区職員が事務局として強力にサポートして頂いており、とても助かっています。これからも地域のために、お力添えをお願いいたします」とのことでした。江木委員は地域の様々な活動に参加されておりまして、区の職員と現場で会う機会が多いこともありこのような御意見をいただいたと思います。 事務局からは以上です。
事務局	それではここまでの部分につきまして、御意見や御提案、御質問等ありましたら自由にいただければと思います。
小平委員	それぞれの目標に対して対応した取組が記載されていることはよく分かりますが、それぞれの取組が新規でやっているものなのか、これまで通り継続でやっているものなのか分かりませんでした。チームオレンジなど昨年度特に実施した取組がいくつかあることは分かったのですが、新規か継続かが分かると良いと思いました。 もう1つは未実施の取組や、継続的にやってきたことを中止したものなどがあるのかどうか分かるようにして欲しいと思いました。止めることが必ずしもネガティブというわけではなく、プラスとなる面もあると思うので、そのようなものがあるのかということがあります。 あと資料3-2の今後の方向性について「現状のまま継続」と「改善しながら継続」がありますが、どのような理由で「改善しながら継続」にしているか事情が分からないと思いました。 また、評価の部分の効果検証において、イベント等を実施した際に参加者アンケートを取っているのではと思います。そこでの意見をもとに数値的に表せるものがあるのではないかと思います。
事務局	ありがとうございます。新規、未実施、中止等の取組について、前期計画から新たに追加となった取組については「新規」と明示しているのですが、実施結果の中で今年度新たに実施したことの記述が分かりにくかったので、工夫して記載していければと考えています。また未実施、中止等についても、もう少し分かりやすい表現をしていきたいと思います。 続きまして資料3-2の今後の方向性につきまして、「現状のまま継続」と「改善しながら継続」の違いは、広報・啓発などについては同じような取組をしていても内容として「改善しながら継続」としているものもありますし、課題感を持って具体的に改善しているものもごございます。こちらの表に細かく記載することは難しい部分もありますが、分かりやすく表記できるように工夫し

	ていきたいと思います。 一つ一つの取組でアンケートを実施しているものもありますが、資料がさらに細かい記載となってしまうため、今回の資料には記載しておりません。この会議で御質問等があれば、担当課から回答できるよう準備しておりますので、御理解いただきたいと思います。
亀谷委員	初めての参加ということもありますが、どの取組をどの課が行っているか非常に分かりづらい部分がありました。また、宮前区には7つの地域包括支援センターがあり、野川地区では、地域福祉に関わる代表者が出席して「野川セブン」を毎月やっています。先日は、地域包括支援センターみかど荘の大塚センター長の仕切りにより実施し、地域支援課や高齢・障害課も参加しているので、地域福祉計画の実績には上がってくるものと思いましたが、その取組はどこに入っていますか。12回も実施しており、せっかくなので実績として明記しても良いと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	どの取組をどの課が行っているか分かりづらい点につきまして、複数の課が連携して実施しているものもあり、分かりやすく表現できておらず申し訳ございませんでした。 野川セブンの取組については、資料3-2の取組35「高齢者が暮らしやすい地域づくりを連携して進めます」に含まれています。その内容は、「地域ケア会議や地区活動を通じて、高齢者を取り巻く様々な課題を共有しながら、地域づくりのためのネットワークを構築し、地域包括支援センターと連携して、高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます。」というもので、担当課は亀谷委員からお話があったとおり、地域支援課、高齢・障害課となっています。野川セブンという文言はありませんが、「実施結果」に記載した「圏域会議」の中に含まれています。
亀谷委員	資料4-2の「数値・効果等の実績」という部分に入っていないのは重点取組でないからでしょうか。
事務局	重点取組となっていますが、現在、野川セブンを含む圏域会議の回数などの実績・評価を行っておりませんので、入れることも検討していきたいと思います。
津田副所長	補足になりますが、圏域会議は包括ごとに実施しているものになります。それを各包括のセンター長が集まる連絡会議で共有していますので、今回の評価の中では「宮前区地域包括支援センター連絡会議の開催」ということでまとめています。
亀谷委員	分かりました。
事務局	個別の取組（資料3-2）では圏域会議の情報を入れていますが、評価の資料では地域包括支援センター連絡会議の開催という記載でまとめさせていただいてよいでしょうか。説明が分かりづらく申し訳ございませんでした。 他に何か御意見・御質問等ありますでしょうか。
亀谷委員	資料3-2基本目標2基本方針（4）の生活保護受給世帯の小中学生の学習支援についてですが、生活保護世帯は学力が低いのでしょうか。
山崎保護課長	学力が全体的に低いということではないのですが、目的としては貧困の連鎖防止ということがあります。どうしても生活保護受給世帯は住める家賃の限度

	額が決まっており、家庭で勉強できる環境にないことがあります。また子ども同士のつながりづくり、目指すべき大人とのふれあいなども目的とし、学習支援だけではなく居場所づくりなども行う事業となっており、高校進学を目指す形で支援を行っています。
亀谷委員	ありがとうございます。私も横浜で子ども食堂に参加して協力していますが、宮前区でもそのような活動は行っているのでしょうか。
事務局	市としての取組ではないのですが、子ども食堂の中では15時位から場所を開放し、17時位から食事開始する所もあります。また、自由に勉強するスペースを設けている場所があると聞いています。
事務局	その他御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。お時間の関係もごさいますので、追加で御質問等がございましたら、メール等で御連絡いただければと思います。今回の資料で、宮前区としての評価を固めさせていただいてよろしいでしょうか。 → 一同了承 それでは続いて議事3に移らせていただきます。
事務局	〔議事3〕 その他 令和4年度から3年間、それぞれの委員の活動や取組との連携を考える機会を作る目的で、委員から所属する団体の取組等を10分程度でお話いただき、その後質疑応答・意見交換することを行ってまいりました。 3年間で一定程度各団体の活動紹介は終わったことや、会議時間の短縮を図ることを踏まえ、もう少しゆるやかにこの場を通じてできることを探っていけたらと考えております。事前に準備いただくことはなく、現場の状況など意見交換できたらと思っていますが、進め方としてはそのような形でよろしいでしょうか。 皆さんの前でお伝えしたいことなどありましたら調整いたしますが、一旦そのような形で進めさせていただきたいと思います。
事務局	議事は全て終了となりますが、せっかくですので現場の状況など意見交換をさせていただきたいと思います。短い時間となりますが、14時まで各委員の近況や意見交換の場の時間にしたいと考えております。順番にお話しただけですでしょうか。
小川委員	私は民生委員になって今年で12年目になります。最初の1年は何も分からず先輩の言うことを聞いていただけでした。2期目で色々分かるようになり、3期目で上の者に文句が言えるようになって、4期目から会長になりました。会長になった途端充て職の多さで、老老介護が始まった我が家としては厳しい状況にあります。半面、10年を超えてくると、やっつけて良かったと思える瞬間に遭遇し、私か妻が倒れるまではやっても良いと思いながら日々活動しています。 私が所属する向丘第2民協は主任児童委員を除いた民生委員23名の内、日中動ける人が5名程度しかいません。通常の会合は昼間に実施していますが、呼ばれると参加できる方はいつも一緒に、中には月に2～3回会議に出るだけで良いと言われて民生委員になり、仕事で出られませんという方も多数います。厳しい話をしましたが実態を知っていただくことが大切だと思い話させて

	もらいました。 また、今回事前に配布された資料を確認し、先ほど何名かの委員の方も意見がありました、数値などの評価について少し考えてみました。 あるイベントの参加者が昨年は何人で、今年は何人来たと記載があっても、だから何なのかとなります。例えば、子育て世代向けのイベントの場合、お世辞ではなく参加して良かった、また来たいと思ってもらった方がどのくらいいるのか。参加人数がもし少なくとも宮前区に引っ越してきて本当に良かったと思った方が多ければ10人～20人のスタッフが半日かけて対応しても効果があったとみて良いのではと思います。 定量的な経年変化も見つつ、コロナなど外的要因も加味し、さらに何が良かった・悪かったといった理由まで見て評価していただきたいと思います。
事務局	ありがとうございます。何かございますでしょうか。
亀谷委員	意見交換について、その場で問題提起をしてディスカッションするのは限界があるので、次回のテーマを事前に決めて事前に皆さんに考えて来てもらえばより効率的になるのではと思いました。
事務局	ありがとうございます。皆様から御意見をいただき、この会がより良いものになればと思います。続いて角山委員何かあれば一言お話しただけですでしょうか。
角山委員	今週、有馬第2団地のネットワーク会議に参加させていただきました。県営住宅が宮前区には多くありますが、高齢化が非常に進んでいること、障害のある人が単身で住んでいること、生活保護を受給している人など色々な方が住んでいるということが印象的でした。 会議には、民生委員や自治会、棟ごとの責任者も参加していましたが、障害のことが分からない、障害を持った方が怖いという声をいただいて、知らないことに対する恐怖がある、お互いが知り合いになれてないという点に課題があると考えさせられましたので、9月に障害に関する勉強会を民生委員向けにやろうと話を進めています。公営住宅は支援を必要としている人がどんどん増えており、支援する側の人が少なくなっていると感じましたが、皆で協力して何かできればと考えているのでお話をさせていただきました。
大塚委員	地域包括支援センターから一言お話しします。 今回重点目標の中にもある、認知症の行方不明者に対する対策について問題意識があり、全国でも行方不明者が増えています。令和5年度で年間19,000人おり500名以上の方が亡くなっています。行方不明のまま見つからない方も200名以上います。これから認知症高齢者が増えていく中で、認知症の方を家に閉じ込めておくことはできないですし、介護ができる家族が少なくなっているため、この問題を真剣に考えていかなければいけないと思っています。 現在地域で見守りを頑張ってくださっている町内会・自治会や民生委員、ボランティアの方もいらっしゃいますが、高齢化で見守りの担い手だけだと対応が難しくなってくるため、包括としてもっとゆるやかにたくさんの人に見守ってもらえるよう、認知症について知ってもらう取組をしていかなければならないと思っています。そのために仕事で地域を回っている人などに対しても普及啓発をしていこうと考えています。

大久保委員	宮前区全町内会・自治会連合会の代表として参加しておりますが、土橋町内会の会長もやっています。御存じのとおり土橋カフェをチームオレンジに認定していただきました。開始から 10 周年になる活動ですが、それを励みにして今後も頑張っていきたいと思っています。
本橋委員	聖マリアンナ医科大学は大学部分と病院部分があり、病院では市民の皆さん向けに健康増進に関する講座をやっています。大学では今年度から学生ボランティアに力を入れていまして、先日向丘出張所での「つながるサンデー」にも看護学生 2 名と医学部学生 3 名で参加しました。今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。
小平委員	大学としては地域探求という新しい科目ができ、1 年生から 4 年生までボランティアなどで地域と連携しながら学習を進めていくというプログラムを今年入学の学生から始めています。現在教員が色々と模索しながら取り組んでおり、麻生区に学校があるので麻生区とのやり取りが多くなると思います。宮前区の活動に参加させていただく機会も増えてくると思います。
事務局	皆様どうもありがとうございました。次回の開催は 11 月を予定しています。この場で次回のテーマを決められればと思いましたが、時間が経過するとともに、地域の状況も変わってくる部分もあると思いますので、次回開催までにテーマを決めて、お話をする機会を作れたらと考えています。本日は貴重な御意見をいただきありがとうございました。 以上を持ちまして、令和 7 年度第 1 回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議を終了いたします。